

2025年 磐梯第二小学校 学校経営・運営ビジョン

福島県教育委員会重点事項
第7次福島県教育総合計画
会津教育事務所重点事項

磐梯町教育基本方針
多様性と包摂性があたりまえにある世界
を大人と子どもでつくる

保護者の願い
○学力向上
○道徳教育の充実
○体力向上
○基本的な生活習慣

教育目標

自己を拓き 共に生きる 社会性の高い子ども
～キラキラと ひとみがかがやく 二小の子ども～

【重点事項】

一人一人を大切にした教育活動の推進

今日的課題

- ・ 学びの変革＝授業の変革
- ・ GIGAスクール構想に基づくICT教育の充実
- ・ SDGsへの取組
- ・ 多様性と包摂性の尊重
- ・ 働き方改革の推進

目指す教師像

- ・ 児童の人格を尊重し、責任と情熱をもって教育活動に取り組む教師
- ・ 自ら研修に励み、心身ともに健康で、指導力の高い教師
- ・ 保護者、地域の方々に対して、信頼される教師
- ・ チーム学校を意識し、組織全体として助け合う教師

自分でつくる・自治

(自己肯定感を高める心の教育の充実)

- ☞ 道徳・特別活動の授業の充実
 - (1) 話し合い活動(少人数の話し合い活動)の活性化
 - (2) 学活と道徳を関連させた指導の充実
 - (3) 道徳・学活ノート等各種ワークシートの活用
- ☞ 体験活動の重視
 - (1) ボランティア活動、自然体験活動等の位置付け
 - (2) 地域人材の効果的な活用

(生徒指導の充実)

- ☞ 児童の発達を支える生徒指導の充実
 - (1) 基本的な生活態度の確立
 - (2) 現職(学活)と関連させた学級経営の充実
 - (3) 学校の合い言葉の周知・徹底
- ☞ 愛校心、郷土を愛する心の教育
 - (1) 勤労奉仕作業、栽培活動の充実
 - (2) SDGsへの理解と自主的な実践
 - (3) ばんだいデジタル宣言の周知と活用
- ☞ 基本的な生活習慣(保健領域)の確立
 - (1) 自分手帳の組織的な活用
 - (2) 計画的な保健室経営及び掲示
 - (3) 肥満・むし歯予防への継続した指導
- ☞ 危機回避能力の育成
 - (1) 避難訓練、交通教室等の実施
 - (2) 日常生活での現場指導

(異年齢集団による学びに向けて)

- ☞ 異年齢自由進度学習への取組
 - (1) 学習計画の支援と助言
 - (2) 振り返りと評価による一人一人の見取り
- ☞ 学級活動・児童会活動の活性化
 - (1) 日課表による意図的・計画的な異年齢活動の位置付け
 - (2) 学級活動を基にした話し合い活動の活性化
- ☞ 2学年合同による異年齢合同体育授業の実施
 - (1) 学習カード等の活用
 - (2) 運動身体づくりプログラムの自校化
 - (3) 児童期運動指針の効果的な活用
- ☞ 運動に慣れ親しむ場の設定
 - (1) キラキラタイムの効果的な活用
 - (2) WEBなわとびコンテストへの参加
 - (3) 運動に慣れ親しむ場の設定(校庭・体育館の環境整備)

(特別支援教育の充実)

- ☞ 個に応じた特別支援教育の充実
 - (1) ネウボラ活動の実施と振り返り
 - (2) 個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用
 - (3) SC、SSW及び関係機関との連携
 - (4) 通常学級との交流の場の設定

(少人数を生かした指導の充実)

- ☞ 個に応じた教育活動の展開
 - (1) 個に応じた目標設定の明確化と振り返り
 - (2) ワークシート・PCドリル等の繰り返し活用
 - (3) 個に応じたキラキラタイムの活用
 - (4) ICTを効果的に活用し、主体的に学ぶ場の設定
 - (5) 教科等横断的な視点での教育計画作成
- ☞ 家庭学習の充実
 - (1) 家庭学習スタンダードの効果的な活用
 - (2) 家庭生活・学習カードを活用しての啓発
- ☞ 教師の自己研さんの時間・児童と向き合う時間の確保
 - (1) 会議内容の精選・働き方推進委員会の活性化
 - (2) ICT・fcs等の円滑な活用

(地域と共にある学校づくりの推進)

- ☞ 開かれた学校づくり
 - (1) CS及び地域の教育力を生かした協力体制の推進
 - (2) 校外学習での講師依頼との連携
 - (3) 学校だより・学校ポータルサイト等の定期的な情報発信

共に磨く・共生

社会性を高める・公正